

参考資料

- 1052-1 U形側溝参考図
- 1052-2 L型擁壁（25t荷重）の短尺・斜切りについて
- 1053-1 ボックスカルバートの規格・仕様について
- 1053-2 ボックスカルバート定着金具の記載単価について
- 1053-3 ボックスカルバートの短尺・斜切りについて
- 1058-1 地先境界ブロック参考図
- 1059-1 環境保全型ブロック積工の施工単価適用に当たっての留意事項
- 2071-1 仮設電力設備の工事負担金について
- 2111-1 橋梁用鋼板単価の計算方法・計算例について
- 2320-1 橋梁用車両防護柵の仕様及び単価について
- 2520-1 底質調査価格適用上の注意事項

1052-1 U形側溝参考図

- 1) 鉄筋コンクリート U形側溝

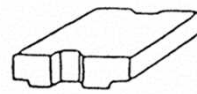
JIS A 5372 附5



U形用蓋一種

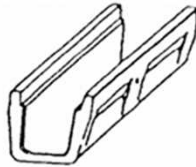


U形用蓋二種

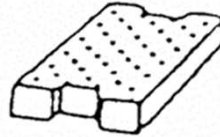


- 2) 鉄筋コンクリート落蓋式特殊U形側溝 (2000)

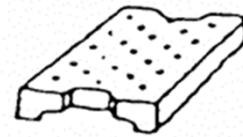
落蓋式特殊U形側溝



落蓋式特殊U形側溝用蓋



落蓋式特殊U形側溝用蓋
(歩道用)



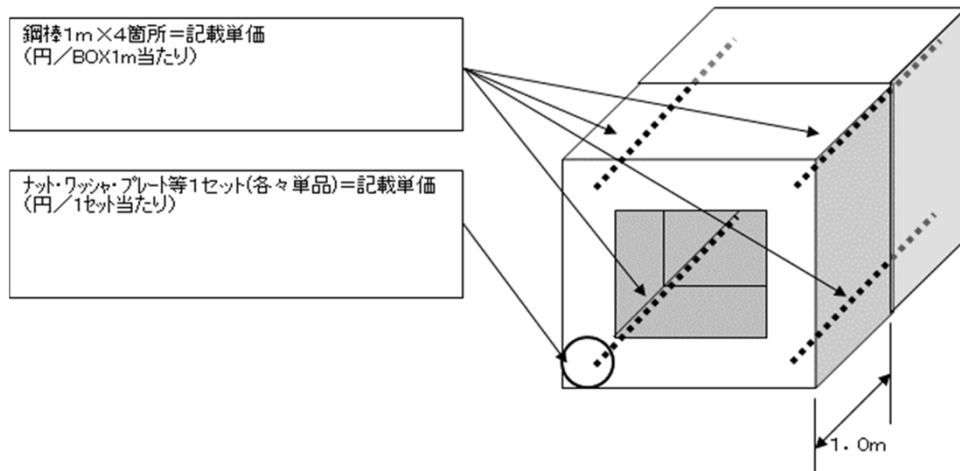
1052-2 L型擁壁 (25t荷重) の短尺・斜切りについて

- | | | |
|-------------------|---|---------------------------|
| 1) L=1000の場合 | : | L=2000の製品価格の60% |
| 2) L<1000の場合 | : | 1mあたり価格の125% |
| 3) 1000<L<2000の場合 | : | L=2000の製品価格の125% |
| 4) 斜切りの場合 | : | 斜切長にかかわらずL=2000の製品価格の130% |

1053-1 ボックスカルバートの規格・仕様について

- 1) ボックスカルバートは、多数のメーカーが製造し、製法、肉厚、重量、荷重条件等を統一した規格は無く、各メーカーが独自に社内規格を設けるか使用場所に合わせて設計製作をしている。
- 2) 単価表に掲載している規格は比較的多く使用されている内断面サイズである。
- 3) 単価は、メーカーが一般的に製作している規格品の単価である。
- 4) 土かぶりの条件は (0.5~3.0m以下) である。

1053-2 ボックスカルパート定着金具の記載単価について

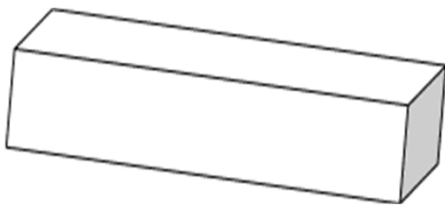


1053-3 ボックスカルパートの短尺・斜切りについて

- | | | | |
|----|----------------|---|---------------------------|
| 1) | L=1000の場合 | : | L=2000の製品価格の60% |
| 2) | L<1000の場合 | : | L=2000の製品価格の75% |
| 3) | 1000<L<2000の場合 | : | L=2000の製品価格の125% |
| 4) | 斜切りの場合 | : | 斜切長にかかわらずL=2000の製品価格の130% |

1058-1 地先境界ブロック参考図

JIS A 5371 附2



1059-1 環境保全型ブロック積工の施工単価適用に当たっての留意事項

- 1) 設計面積は、ブロック積本体の面積と調整コンクリートの面積を合計した面積とする。
- 2) 目地材、水抜きパイプ、吸出防止材を含む。
- 3) 施工単価には、胴込コンクリートの打設手間を含むが、材料費は含まない。
- 4) 吸出防止材を全面に施工する場合は別途計上する。
- 5) 小口止コンクリート・天端コンクリート・裏込材・裏込コンクリートは別途計上する。
- 6) 砂防施設災害におけるブロック積は練積とすること。

2071-1 仮設電力設備の工事負担金について

1) 常時契約の場合

低圧又は、高圧で供給を受ける場合で、新たに電気を使用又は、増加する場合、これに伴い配電設備の工事こう長が、1,000m、地中の場合は、150mを超える場合にその超過こう長分に次の金額を乗じて得た金額に消費税相当額を加えた金額が工事費負担金となる。

2) 臨時契約の場合

電力供給者と協議のうえ、必要工事費を計上する。

2111-1 橋梁用鋼板単価の計算方法・計算例について

- 1) ベース価格は高炉大手3社（新日鐵住金・JFE・神戸）の実勢販売価格とする。
- 2) ベース価格に型式エキストラを加算する。

型式	エキストラ (円)
a. ガーター型式	1,000
b. ボックス型式	1,600
c. トラス 型式	1,600

※ 本表は例である。
最新の土木工事標準歩掛（道路編）
に掲載の価格を適用すること。

- 3) 厚みエキストラは、 $12 < t \leq 25$ mmをベース（0）として、 $25 < t \leq 50$ までは、5mm又は端数ごとに1,000円/t加算、 $50 < t \leq 100$ までは、10mm又は端数ごとに1,000円/t加算とする。

厚み (mm)	$t \leq 25$	$25 < t \leq 30$	$30 < t \leq 35$	$35 < t \leq 40$
エキストラ (円)	0	1,000	2,000	3,000
厚み (mm)	$40 < t \leq 45$	$45 < t \leq 50$	$50 < t \leq 60$	$60 < t \leq 70$
エキストラ (円)	4,000	5,000	6,000	7,000
厚み (mm)	$70 < t \leq 80$	$80 < t \leq 90$	$90 < t \leq 100$	
エキストラ (円)	8,000	9,000	10,000	

※ 本表は例である。最新の物価資料に掲載の価格を適用すること。

4) 計算結果

計算例1

(単位：円)

項目	選択寸法・規格	単位	価格
ベース	無規格（厚板）	t	116,000
規格料	SM490YB（SM50YB）25mmをこえ38mm以下	t	19,000
型式エキストラ	ガーター型式	t	1,000
厚みエキストラ	32mm	t	2,000
合計		t	138,000

計算例2

(単位：円)

項目	選択寸法・規格	単位	価格
ベース	無規格（厚板）	t	116,000
規格料	SM400A（SM41A）38mmをこえ100mm以下	t	9,500
型式エキストラ	ボックス型式	t	1,600
厚みエキストラ	88mm	t	9,000
合計		t	136,100

2320-1 橋梁用車両防護柵の仕様及び単価について

- 1) 橋梁用車両防護柵の適用に当たっては各種基準書の最新版を参照のこと。
- 2) 掲載単価は、車両用防護柵と高欄の兼用タイプC(SP)種である。
- 3) 標準スパン以外、また、縦断勾配加工、曲げ加工等の特殊仕様は別途価格とする。
- 4) 縦棧型については格子上下端部の横梁をビーム本数に含めている。
- 5) 橋面からの高さ（地覆高を含めた橋面からの高さ）は車道用1.0m、歩道用1.1mとする。
- 6) 歩道に設置する防護柵は「防護柵設置基準」等に基づき選定すること。
- 7) アルミ製高欄の使用にあたっては、腐食等の影響を十分考慮すること。
- 8) 路面の凍結が生じやすくスリップ事故の発生が予測される橋梁については道路建設課と協議を行うこと。

2520-1 底質調査価格適用上の注意事項

- 1) 測定・分析費は、諸経費を含んだ価格である。
- 2) 採泥点は200m～300mメッシュを標準とし、河口部等の堆積汚泥の分布状況が変化しやすい場所は、必要に応じて地点を増加するものとする。
（詳細は底質調査方法を参照）
- 3) 採泥及び資料運搬は赤本を参考に積算する。なお緒経費については採泥及び試料運搬のみ計上すること。